

## 美濃市古城山環境保全モデル林で 「ふれあいの森でしいたけホダ木づくり体験」が開催されました

令和4年2月20日(日)に、美濃市吉川町にある古城山環境保全モデル林(ふれあいの森)で、古城山環境保全モデル林連絡協議会主催による「ふれあいの森でしいたけホダ木づくり体験」が開催され、14名(うち子供5名)が参加されました。

ホダ木となる原木は、モデル林内の木を使用しました。あらかじめ伐倒しておいた木をスタッフがホダ木の長さに合わせて玉切りし、参加者が林内から手渡してトラックに積込み、作業を行う管理棟前まで運び出しました。

ホダ木は、原木に種菌を植え付ける穴をあけ、種菌(今回は駒菌)を植え付けて完成です。手回しドリルで穴をあけますが、慣れない作業でこずりながらも参加者が協力して穴をあけていました。あけた穴には、一つずつ丁寧に木槌を使って駒菌を打ち込んでいました。この日つくったホダ木は、上手に育てると来年の秋頃にシイタケが生えるそうです。ホダ木は参加者が持ち帰り、シイタケがたくさんできるか楽しみ、と話していました。

昼食はシェフが作った、薪で炊いたごはんの野菜たっぷりカレーライスをおいしくいただきました。



管理棟前で開会式



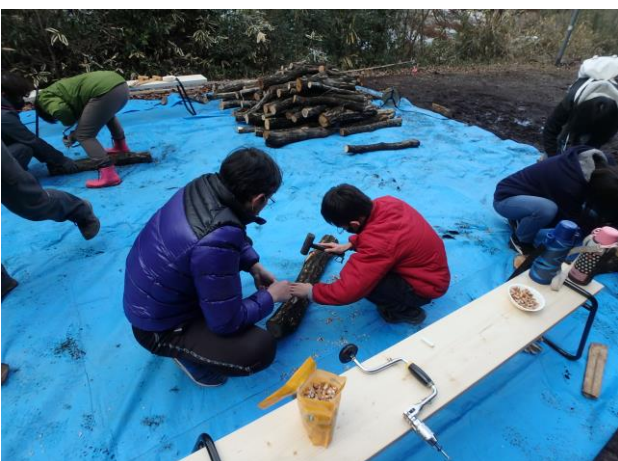
スタッフが玉切りした原木を運搬



スタッフの説明のあと、ホダ木づくり開始



手回しドリルで原木に穴あけ



駒菌を木槌で打ち込み



昼食(薪で炊いたごはんの野菜カレーライス)

「木を山から出すところから始まり驚いたが、いい経験になった」、「穴をたくさんあけるのが大変だった」、「大変な作業だが、楽しかった」等の感想をいただきました。